

院内での普及啓発活動のあり方に関する研究

研究分担者 柴田 尚明 和歌山県立医科大学・救急集中治療医学講座 助教

研究要旨:

我々の平成 29 年度の研究では、院内で臓器移植を普及啓発するためには、院内ドナーコーディネーター(院内ドナーCo)の養成プログラムを確立することが必要と考えた。そのため、プログラムを確立するために、まずは本邦の臓器提供施設となっている 5 類型施設の現状を把握するためのアンケート調査を行うこととした。その結果から、本邦の各施設の問題点および院内ドナーCo の問題点を抽出し、その問題点を解決できるような座学やシミュレーションなどを含めた院内ドナーCo 養成プログラムを確立することとした。

A. 研究目的

本邦の臓器提供施設である5類型施設における臓器提供に関する問題点および院内ドナーCoの問題点を抽出すること。および、それらの問題点を基に各問題点を解決できるような院内ドナーCo養成プログラムを確立することが研究目的である。

B. 研究方法

まずは、アンケート作成のために、臓器移植に関する勉強会などに参加し、各施設が抱えている問題点をある程度把握した。

また、和歌山県の院内ドナーCoと繰り返し話し合いを行い、院内ドナーCoが抱えている問題点もある程度把握した。

そのうえで、自分なりに本邦の院内における臓器移植の普及啓発における問題点を仮設してみた。

その仮説の問題点としては、以下の2つを考えた。

①医療従事者においても「移植医療」が終末期における1つの選択肢になり得ることがあることの認識が低い。そのため、ポテンシャルドナーが発生しても、「臓器移植」の話はなされず、看取りの方針となり、患者及び患者家族の思いに添い遂げられず最後を迎えるケースが存在する。

②ポテンシャルドナーが発生した場合、その説明や患者管理などにおける精神的・時間的・技術的問題が多い。特に、300床程度の中規模病院では、経験的にもマンパワー的にもこれらの問題点はより大きいのではないかと考える。

これらの問題点を解決する方法の1つとして、充実した院内ドナーCo養成プログラムを確立すること

ではないかと考える。つまり、臓器移植件数が少ない施設であっても、充実した養成プログラムを行えば、院内ドナーCoによる院内研修会などで①の問題点が解決され、またポテンシャルドナー発生時であっても院内ドナーCoによるサポートにより②の問題点も解決へ近づくのではないかと考える。

これらの仮説のもとに、5類型施設へのアンケートと院内ドナーCoへのアンケートを作成。

現在本邦で存在する5類型施設933施設へ郵送し、回答の上、返送していただくようにした。

(倫理面への配慮)

アンケートは匿名化するために、無記名調査としている。また、倫理的配慮に関してはアンケート依頼書に明記させていただいている。

C. 研究結果

アンケートの作成およびアンケート送付先リスト作成に時間を要したため、現在アンケートを回収できたところである。そのため、5類型施設および院内ドナーCoの問題点抽出および院内ドナーCo養成プログラム(仮)を作成するところまでは至っておらず、平成31年度に行うこととしている。

D. 考察

平成29年度の研究における文献調査でも、一連の院内ドナーCo養成プログラム(「臓器移植に関する座学」「臓器移植のワークショップ、シミュレーション」)を行うことにより、移植に対する知識やドナー患者に接する技術が向上し、臓器提供が円滑に行わ

れている。

和歌山県でも院内ドナーCo養成プログラムが存在し、当院にもそれらを研修した院内ドナーCoが複数名存在する。その結果、問題仮説②は比較的解決されている。しかし、当院では院内ドナーCoによる院内啓発活動はまだあまり行えておらず、問題仮説①が未解決の状態であり、院内における移植医療の普及にまでは至っていない。

まずは、本アンケート結果を基に本邦における院内ドナーCo養成プログラムを確立(平成31年度)し、それを基に院内ドナーCoが各施設において院内啓発活動を行っていけば、院内における移植医療の普及につながると考える。当院でも平成31年度からより積極的に院内啓発活動を行っていく予定である。

E. 結論

充実した院内ドナーCo養成プログラムを確立することが、院内での「移植医療」の普及啓発および「移植医療」に伴う精神的・時間的・技術的ストレス軽減に繋がると考える。

F. 健康危険情報

G. 研究発表

1. 論文発表

本研究をはじめとした臓器移植に関する論文発表は行っていない。

2. 学会発表

本研究をはじめとした臓器移植に関する学会発表は行っていない。

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

特になし。

2. 実用新案登録

特になし。

3. その他

特になし。